

| | |
|-----------------------|--|
| 議事概要 | |
| 会議の名称 | 令和6年度第1回長久手市文化の家運営委員会 |
| 開催日時 | 令和6年10月1日（火）午後6時30分から午後8時まで |
| 開催場所 | 長久手市文化の家 企画室A・B |
| 出席者氏名 （委員50音順、敬称略） | 【委員】 大村真也 梶田美香 加藤千恵 川北真紀子 小林大地 佐藤文子 鈴木香代子 野田かなえ 【事務局】 生涯学習課 担当課長兼文化の家館長 生田創 事業係長 黒野雅直 施設係長 近藤一英 施設係主任 野田悠子 |
| 欠席者 | 浅野芳夫委員、安原雅之委員 |
| 傍聴者人数 | 0人 |
| 会議公開・非公開 | 公開 |
| 概要 | 1 報告事項 (1) 令和5年度・令和6年度（8月分まで）管理運営報告 (2) 令和5年度事業報告 (3) 令和6年度事業報告 (4) 特定天井等改修工事について 2 議題 住民企画支援事業の実施について 3 その他 |

| | |
|-----|---|
| 議事録 | |
| 事務局 | 1 あいさつ 館長あいさつ |
| 事務局 | 本会議は、過半数の委員が出席しているため、成立していることを報告。ここから議事進行を委員長に願います。 |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>2 報告事項</p> <p>(1) 令和5年度・令和6年度（8月分まで）管理運営報告</p> <p>（【資料1】に基づき、説明）</p> |
| 委員長 | <p>入館者がコロナ禍前の水準に戻る見込みと聞いて安心した。食文化室と展示室の稼働率低下について、固定客が減ったというのはどのようなことか。</p> |
| 事務局 | <p>食文化室と展示室はコロナ禍以降、楽器練習等目的外での利用が増加していた。コロナ禍が落ち着き、目的外利用者がコロナ禍前に利用していた施設が利用再開し、元の活動場所へ戻っていったことによる稼働率低下と思われる。</p> <p>(2) 令和5年度事業報告</p> <p>(3) 令和6年度事業報告</p> |
| 事務局 | <p>（【資料2】及び【資料3】に基づき、説明）</p> |
| 委員長 | <p>おんぱくの映像に見入ってしまった。</p> |
| 委員 | <p>毎度述べているが、文化の家の事業はオリジナルのものが多く、なおかつ質が高い。両立できていることにいつも感心している。さらに、今までの事業と少々方向性が異なるものが増えたと感じた。交流ができるイベントに興味があり、ロストテクノロジー展や市役所研修、映像事業など、いつもと違う取組に関心がわいた。アウトリーチは毎年小中学校全校に行っているのか。</p> |
| 事務局 | <p>全校訪問している。長久手市は小学校6校、中学校3校の計9校のため、毎年巡回できている。</p> |
| 委員 | <p>長久手市内の小中学校に通う児童の保護者と話をする機会がありであーとについて話題になった。給食を食べていたら、ふらっと演奏者が入ってきた。音楽室での演奏も距離が近いと言っていた。生の演奏に触れる機会は貴重なので、年に1回だけでもよいので今後も続けてほしい。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>ハラスメント研修が印象に残った。自分の職場の研修はあまり参加する気になれない。文化の家が人事課と協力して実施した研修は、行ってみたら面白いかもという期待感がある。内部から改善するためにも、まず参加したくなるような仕掛け作りが良いと思った。</p> |
| 事務局 | <p>今回の研修は、人事課と協議して実施した。管理職からハラスメントとなる基準を教えてくれ、と人事課は言われていたようだ。人事課は、自分で考えることを放棄するのではなく、管理職が自らハラスメントについて考えるべきと感じ、演劇を取り入れてみたいと思ったようだ。講師を務めた文化の家職員が受講者に「相手の立場がどのように受け止めるか考えてほしい、悩んでほしい」と伝えていたのが印象的だった。</p> |
| 事務局 | <p>演劇を取り入れたアイスブレイクをし、コミュニケーションがとれるように工夫していた。実施内容について、賛否両論あったと聞いていたが、受講者アンケートの記述量が多かった。記述量の多さが参加者自身が考え、悩んだ結果である。</p> |
| 委員 | <p>そのような研修を劇場が作り上げたことがすばらしいと思う。専門業者のパッケージを購入し実施する事例はあるが、劇場や市役所が自前で構築し、実践した事例は聞いたことがない。</p> |
| 委員 | <p>おんぱくの準備が積み重ねられていることを知った。地域住民と近い距離で音楽に触れられる機会があるのはありがたかった。ぜひ今後も続けてほしい。</p> |
| 委員長 | <p>初日で完売したのか？</p> |
| 事務局 | <p>6月15日のイオンホールイベント実施時に完売した。</p> |
| 委員 | <p>自分は、おんぱくに思い入れが強い。2年前に創造スタッフを卒業していたが、今回もおんぱくに携わることができた。今までのおんぱくで表出した課題が解消されている印象があった。積み重ねが良い結果となった事例だと思った。</p> |
| 委員長 | <p>自大学の学生がボランティアで参加していた。大学では見られない良い表情が見られた。</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>(4) 特定天井等改修工事について</p> |
| 事務局 | <p>(【資料4】に基づき、説明)</p> |
| 委員 | <p>休館期間はいつからいつまでとなるのか。</p> |
| 事務局 | <p>資料に記載のとおり、令和7年1月から休館し、終期は未定である。</p> |
| 委員 | <p>再入札について検討中ということは、工事の内容は確定ではないということか。</p> |
| 事務局 | <p>まだ入札前のため、詳細は公表できない。</p> |
| 委員 | <p>休館期間は、1年半と見込んでいたが、もう少し長くなることを覚悟しなければならない。不調となった原因の一つに難易度が高い工事であるとあるが、どのような工事となるのか。</p> |
| 事務局 | <p>特定天井は高さ6メートル以上のため、それだけでも難易度は高くなる。近隣自治体においても特定天井改修に関わる工事は不調が相次いでいる。</p> |
| 事務局 | <p>音響の良さに影響を出したくないという意向が文化の家としてはある。音響効果が損なわれないように工事を行うことも難易度を高めている要素である。</p> |
| 委員長 | <p>休館中はどのような活動を計画しているか。</p> |
| 事務局 | <p>市内神社での演劇イベント、他課の課題と一緒に取り組むこと等を計画している。再開にむけた大規模イベントの計画もしていきたい。もちろんアウトリーチも今までどおり行う。アーカイブ公開に向けた整備もすすめていきたい。</p> |
| 委員長 | <p>職員はどこで勤務するのか。</p> |
| 事務局 | <p>職員は、文化の家事務室で勤務をする。アトリビング棟は先行して再開する可能性がある。開館中は、ホール公演の制作に注力していたが、街に出て芸術との出会いを提供していきたい。パブリッ</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>クスペース活用についても検討している。目的がなくても文化の家によれる空間作りを計画している。利用者が変わったと感じてもらえるように作っていききたい。</p> |
| 事務局 | <p>物販やレストランは劇場にとって大切な要素である。</p> |
| 事務局 | <p>北テラスを活用したマルシェ等を実施していききたい。市民と協働したイベントができるようにしたい。</p> |
| 委員長 | <p>休館中に積極的な情報発信をし、期待を持たせるようにしてほしい。</p> |
| | <p>3 議題</p> |
| | <p>住民企画支援事業の実施について</p> |
| 事務局 | <p>(【資料5】に基づき、説明)</p> |
| 委員 | <p>何を支援するのか？</p> |
| 事務局 | <p>会場の確保と広報協力である。赤字の補填を市が行うものではない。</p> |
| 事務局 | <p>本来は、制作ノウハウを共有する制度。今回の申請者はすでにノウハウがある程度蓄積されている団体のため、会場確保と広報協力のみとなっている。</p> |
| 委員長 | <p>住民企画支援事業はどのように周知しているのか。</p> |
| 事務局 | <p>大規模な周知はしていない。</p> |
| 委員長 | <p>オープンな事業としてもよいのではないかと。支援を求めている市民もいるかもしれない。</p> |
| 委員 | <p>実行委員会内の長久手市民の割合はどのようか。</p> |
| 事務局 | <p>ほぼ全員が長久手市民である。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 以前は、代表者のみ長久手市民という団体からの申請が増加していた。市として、優先順位を考慮するにあたり、市民が多い団体からの申請を優先できるようにしたという過程がある。 |
| 委員長 | 以上で本日の議事を終了とする。進行を事務局にお返しする。 |
| 事務局 | 本日の会議は、以上で終了する。 |